



ISAP2013 パラレルセッション

## 緑の贈与 ～その仕組みと役割～

2013年7月24日 植田和弘(京都大学)  
ueta@econ.kyoto-u.ac.jp

## 求められるグリーン投資

必要な追加的グリーン投資: 約6～8兆円/年

\* 低炭素社会構築へ2030年までに必要とされるもの。

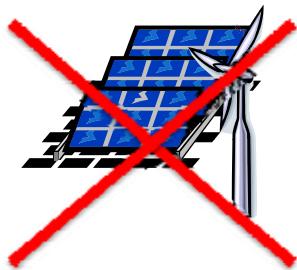
省・再エネ政府予算  
約0.4兆円(H25)



贈与・相続マネー

約30兆円/年

## 個人の再エネ投資を阻害するもの



元を取るのに15年?  
それじゃあねえ……

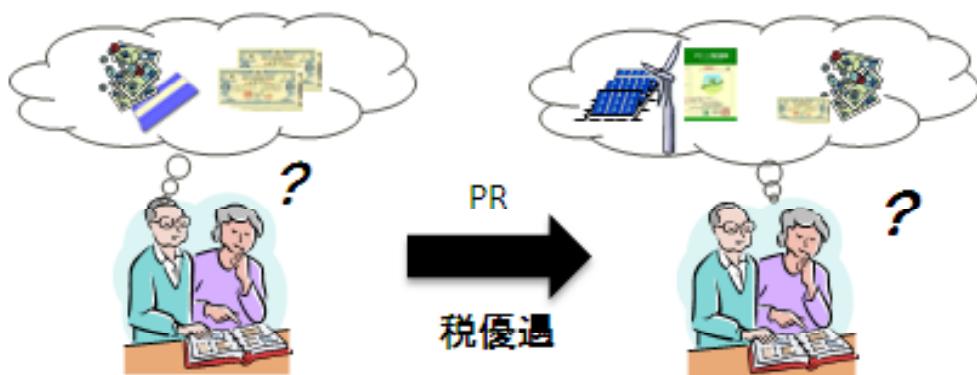


初期投資が150万円?  
うちの家計じゃ無理だわ…

3

## 緑の贈与とは

資産継承の際に、「再生可能エネルギー」を贈ること。  
必要な施策は、贈与税優遇とコンセプトのPR



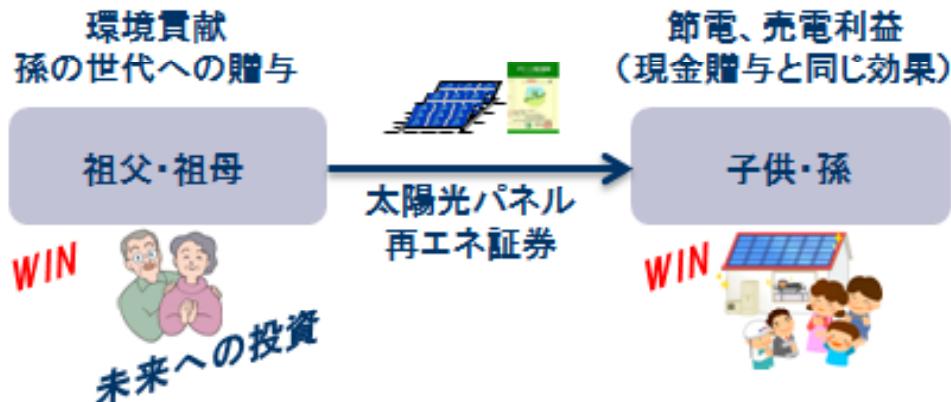
「私達の資産、何で遺そうか?」  
「現金? 株?」

「現金? 株? “緑の贈与”?」

4

# 緑の贈与の仕組み

実益と環境貢献のWIN-WINストーリー。  
個人による再エネ投資の阻害要因を打破。



5

## 緑の贈与のポテンシャル(1)

意識調査の結果(H24 調べ)

緑の贈与をやってみたい:高齢者の約2割( 400万世帯に相当)  
約5割が「わからない」と回答。理由は「イメージがわからない」等が多数。  
→PRにより、一定割合が実施する可能性あり。

緑の贈与 実施意向平均単価:約430万円

400万世帯 × 430万円 = **16兆円(1~1.5兆円/年)以上**

[参考]

- ✓ 高齢者のいる世帯数は約2,000万世帯  
純資産2000万円超:約800万世帯  
収入>支出(貯金取崩し小)の世帯:6~700万世帯
- ✓ 贈与・相続を行いたい:約6~7割、お金を使いたい:約3割

# 緑の贈与 効果試算

2016～2030年累積投資額：約16兆円

## 再生可能エネルギー

(太陽・風力・中小水力・地熱・バイオマス)

15年間の累積導入量

**5,000万kW**

(現在の累積導入量の2倍以上)

## 化石燃料輸入削減額

(石炭・石油・天然ガス)

15年間の累積輸入削減額

**2兆9,942億円**

(単純年平均 1,996億円)

## 雇用創出

15年間の累積雇用創出

**102.5万人・年**

(単純年平均 6万8,383人・年)

## CO<sub>2</sub>排出削減

15年間の累積削減量

**2億8,954万t-CO<sub>2</sub>**

(単純年平均 1,930万t-CO<sub>2</sub>)

IGES（蒲谷景、小嶋公史、松尾雄介）による試算 7

## 緑の贈与のポテンシャル(2)

緑の贈与を「呼び水」に金融機関や市場から資金調達を



**グリーン投資の規模は更に拡大  
年間2兆～3兆円(合計30兆円)規模も視野に**

緑の贈与マネーは、長期、安定志向だが、リスクマネーとしての活用 も一定程度は可能か。

## 緑の贈与が実現すれば‥

- ・安全で環境に優しいエネルギーシステムの構築は可能
- ・国民がエネルギーシステムの所有者( 株主に)
- ・海外流出していた電気代が、子や孫への投資に
- ・国内で新たな資金還流が誕生。 実体経済が活性化
- ・グリーン成長への一歩

**環境、経済、社会的に持続可能な社会へ！**